

12月4日～10日は人権週間



国際化がすすみ、私たちが外国の人々や文化とふれ合う機会も多くなりました。また、海外へ出かけることも珍しいことではありません。南国市にも今年10月現在で306名の外国人が在住しています。

地球にはたくさんの異なる国があり、いろいろな民族が暮らしています。一人ひとりが別々の「人」です。その人一人ひとりがそれぞれの考えをもっています。「外国人」と、ひとくくりでいうのではなく、その「人」自身を理解し、認めていくことが本当の交流につながるのではないのでしょうか。

今年の人権特集では、外国人の人権問題として、1997年12月4日に高知新聞に掲載された記事を紹介いたします。

## 『外国人から見た人権 in KOCHI』

「もう、つんざり」

吾川郡春野町の外国語指導助手（ALT）の黒人女性、アンシャネ・ヒルさん（23）「米・オハイオ州出身」は、先日日本のテレビを見て思った。全身を黒く塗り「爆発した髪」「下半身を覆う草のパンツ」などと黒人をからかう格好の芸能人が画面に登場したのだ。

今春、ヒルさんは高知市内の輸入雑貨店にあつた1920年代以前の商品看板を「黒人をからかうもの」と、高知地方法務局に改善を訴え撤去させた。この看板は店の人が「面白い」「かわいい」と米国で購入したもので、差別につながると思っていなかったという。

何気ない街の光景を介した人権感覚のずれ。

だがそれは高知に限ったことではない。すっかりした日本語で「大学時代に京都に留学していたんですが、そんな看板がたくさんありました」。テレビ番組に「からかい」が出てくるのだから、日本中にそんな意識があるのでは、とヒルさんは思う。

## —— 他民族の歴史も知って ——

無意識の差別

黒人差別の歴史を日本人はあまり知らない、とよく指摘される。

17世紀、奴隷として米大陸に連れてこられた黒人たちは、1863年の奴隷解放宣言発布で自由の身になれたようにも思えたが、逆に州法などで差別は合法化されていく。その改善が本格的に始まるのは1950年代の公民権運動からだ。「だが今もアメリカには社会的、経済的、文化的な黒人差別やマイノリティー（少数民族）への差別がある」というヒルさん。自身も小学校に入ったばかりのころ、白人の友人宅を訪ねると、黒人を侮った言葉で「いないから帰れ」と父親に怒鳴られた。それが今も、心の傷として残っている。「そんな歴史を知ってほしいのです。今、黒人の音楽やファッションが世界中に『格好いい』と認められてきている。でもそれってうわべだけ。歴史を知れば、なぜそんな音楽や、ファッションが生まれてきたのが、分かるはずです。からかいの看板を知らずに掲げるような『無意識の差別』は減るはずです」

アンシャネ・ヒルさん 米国

みんなちがって  
みんないい



クラスの友人と楽しく音楽にあわせシンク口を披露するミシェル君（右奥 = バングラデシュ出身 =）。（日章小学校）

市では、岡豊小学校、日章小学校を中心として国際理解教育に取り組んでいます。日章小学校では、校舎内の掲示板に国際コーナーを設け、カレンダーや帰国した友達からの手紙などが飾られています。また、テレビ朝礼や集会では外国の遊びやクイズなどを紹介し、授業の中でも外国の料理・文化に親しむ学習を取り入れるなどしています。

多文化社会に

高知の生活を通じ差別を感じているのは、ヒルさんだけではない。看板撤去申し出をきっかけに、県内在住の外国人たちの親ぼく団体「こうちくらぶ」は「日常的に差別を感じることはまだまだある」と、人権問題を考えるワーキンググループを発足させた。法務省入国管理局がことし六月に発表した「96年末の外国人登録者統計」によると、その数は日本全国で141万5千136人。県内でも2千299人おり、韓国・朝鮮人や中国、フィリピンなどアジアの人々を中心に、年々百人前後増加する傾向にある。

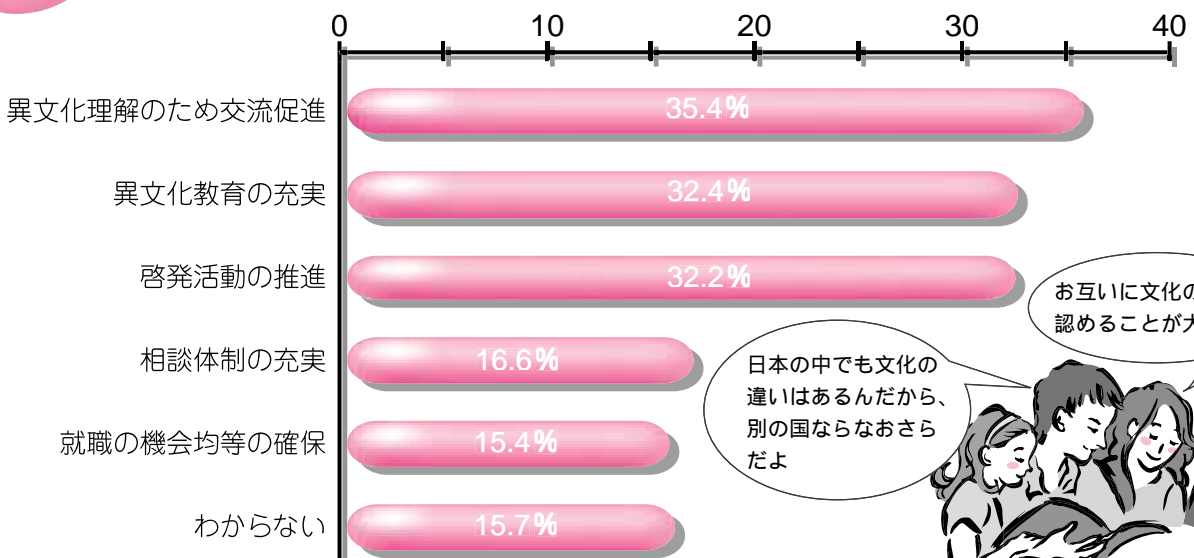
ヒルさんは「高知もますますマルチカルチュラル・ソサエティー（多文化社会）になるでしょう。その時、『差別をしない』『許さない』ためにも、いろんな民族の歴史を勉強してほしい。私も勉強したいと思います」と訴える。と同時に「高知の人々には大変、感謝しています」と言う。PTAの学習会でも人権問題について話したんですが、いろんな人が私の訴えを真剣に聞いてくれた。新聞も注目してくれた。高知の人権の状況は、変わってきたんじゃないかと思っています」

1997年12月4日高知新聞より転載

アンケート

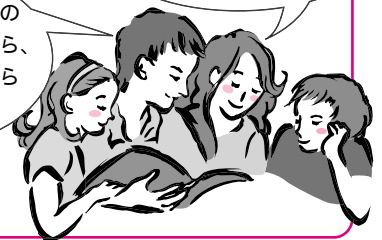
☆外国人の人権を守るために必要なことは  
どのようなことだと思いますか？（上位6位 / 複数回答）

県企画振興部人権課 H14 年度調査より



日本の中でも文化の違いはあるんだから、別の国ならなおさらだよ

お互いに文化の違いを認めることが大切よ



お問い合わせは、人権広報委員会 880-6569 まで